

コンピュータのソフトウェア障害

(障害の原因について)

障害原因の分類

- ・ 事前テスト・検討の不備
新しいサービス・ビジネスの開始時
新システムの導入、新機能の追加
時間・予算・人員の不足
- ・ 障害の伝播
二重三重にバックアップされたシステムでの障害
待機システムへの切り替えに失敗
- ・ 機器の老朽化・耐用年数を超えての利用等
- ・ 人為的なミス(故意ではないもの)

「基幹業務」がおかれている状況

24 時間 365 日の無停止システムが要求される
さらに急変するビジネスに対応した新しいサービスが要求される
迅速に対応するためにテスト期間にしわ寄せがくる

複雑なものがバランスを崩すことなくより複雑になるのは難しい

より障害が起きやすい状況が発生している

EUC(エンド・ユーザ・コンピューティング)という逃げ道・・・

問) EUC に逃げるといえるのはどういうことなのか？

問) 記憶に残っているコンピュータトラブル事例とその原因をあげてください・・・

障害と影響

損害額の算定はなかなか行われない・公開されないのだが・・・

1998 年の ERP(業務パッケージ)被害額(MERIT の調査)

システム停止は 1 週間に平均 2.8 時間

失ったコストは 1 時間あたり平均 3 万 5950 ドル、年間 503 万ドル

・・・予想以上に大きい! ?

TCO (Total Cost of Ownership)

システムの導入・維持・管理にかかる費用の総額

コンピュータが安価になり導入費用(製品価格)だけではなく、その後の費用(ランニングコスト)が無視できなくなった。

課題にもあったように、TCO を抑えることは利益を確保する上で重要!